

第 34 回静電気学会全国大会開催案内

会期: 2010年9月14日(火)、15日(水)

会場: 鳥取大学 工学部 (〒680-8552 鳥取市湖山町南4丁目101番地)

大会内容

学術講演: 2010年9月14日(火)、15日(水)
(一般講演) 14日(火)、15日(水)
(特別講演) 1~2件

臨時総会: 14日(火)

懇親会: 14日(火) 18:00頃~20:00(場所; 未定)

会費 5000円、同伴者(ご家族同伴歓迎) 3000円、正会員(大学院生)・準会員(学部生) 2000円

大会参加費: 正会員 5000円、正会員(大学院生)・準会員(学部生) 3000円、賛助会員 5000円、協賛学会員 6000円、
非会員 7000円

会場へのアクセス: JR 山陰本線 鳥取大学前駅より徒歩7分

(詳しくは<http://www.eng.tottori-u.ac.jp/outline07.html>をご参照願います。)

開催場所の詳細およびプログラムは決まり次第、静電気学会 Web ページに掲載します。なお、英文アブストラクトも8月に Web 上で公開しますので、特許に係る内容にはご注意下さい。

参加費は当日会場受付にてお支払い下さい。なお、事前にお支払い希望の方は学会事務局までご連絡下さい。

懇親会は当日会場受付にてお申し込み下さい。定員になり次第締切らせていただきますのでお早めをお願いします。

宿泊については学会での特別手配はありません。

第 34 回静電気学会学術講演会講演募集要項

講演および参加申し込みは静電気学会 Web ページ <http://www.iesj.org/> をご参照下さい。

応募資格: 登壇者は会員に限ります。会員外の場合プログラム作成時に除かれますので、未入会の方は講演申し込み時までに入会手続きを取って下さい(希望会員種別ご確認の上学会事務局に入会申込書をご請求下さい)。

講演時間: 15分(講演10分、質問5分)

講演申込: 郵送かWEB入稿となります。(予定)

① 郵送: 次ページ上の申込書、講演原稿1部とそのコピー1部

② WEB入稿: 静電気学会 Web ページ(<http://www.iesj.org/>)より指示にしたがって入稿してください。

講演番号などが決まり次第、Eメールでお知らせするか Web ページ上に掲載します。なお Eメールや Web ページを利用できない方は、官製はがきの表面に返信先を記入し、裏面に講演題目を記入したものを講演1件につき1枚、講演申込書および原稿に同封して下さい。

申込期間: 2010年7月下旬予定(決定次第 Web に載せます。)

7月**日(*)正午必着のこと。締切は厳守願います。原稿到着が遅れた場合、印刷スケジュールの都合上、該当ページが白紙となる可能性があります。

郵送先: 静電気学会事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-3 シャルム'80 4F

TEL: 03-3815-4171、FAX: 03-5841-6786(東京大学 小田哲治気付)、Eメール: iesj@iesj.org

なお、受取の都合上、宅急便・書留等で送る場合には下記宛にお送り下さい。

〒113-8656 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻 小田哲治 宛

学会誌への論文掲載: 提出された論文のうち6ページのものは、講演論文集に収録されるとともに、査読を経て採択されたものは静電気学会誌(全国大会論文特集)に原著論文として掲載されます。

<第 34 回 静電気学会 学術講演会 講演申込書>

送付先: 静電気学会事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷 4-1-3 シヤルム'80 4F
 TEL: 03-3815-4171 FAX: 03-5841-6786(東京大学 小田哲治気付)

希望分科記号	講演題目
所属	(ふりがな) 氏名 (連名の場合は登壇者の氏名の左肩に○印)
連絡先	
氏名:	
住所:〒	
TEL:	FAX:
Eメール:	
原稿ページ数(6 ページのものは学会誌への投稿論文として自動的に査読プロセスへ送られます)	ページ

申し込み専用の用紙はありません。この面をコピーしてご利用下さい。

(記入上の注意)

希望分科：次ページ記載の分科から選び、必ず分科記号を記入して下さい。

講演題目：「について」を省き、「その1」、「その2」は(I)、(II)を用いるなどなるべく簡素なものとして下さい。

所属：「東大」、「東理大」など略称でお書き下さい。

発表者が連名の場合で、所属が複数となる場合には、所属と氏名の右肩に*、**等を付けて対応が明確となるようにご記入下さい。

氏名：連名の場合は必ず登壇者の左肩に○印をつけて下さい。

<講演申込用 Eメールのフォーマット>

上記の講演申込書を参照して、次の 12 項目をメール本文に箇条書きにして、講演原稿の電子データ(PDF 原稿)を添付して送付して下さい。

- 1 行目:「学術講演申込」、2 行目:分科番号、3 行目:講演題目、4 行目:所属先名、5 行目:発表者氏名、6 行目:発表者のよみがな、7 行目:連絡先の住所氏名、8 行目:学会誌掲載のための希望の有無(6 ページの原稿の場合のみ)、9 行目:英文講演題目、10 行目:英文所属先名、11 行目:英文発表者氏名、12 行目以降:英文アブストラクト
- 4・5・10・11 項目の登壇者の記号(左に○)、所属の記号(*、**)は、上付や半角にせず全角のままでお送り下さい。
- 1 項目当たりの情報が多くて 1 行に入りきらないときは、2 行に渡っても結構です。

Eメールで送られたデータを元にプログラムを作成しますが、文字化けやファイル消滅のおそれがありますので、必ずこのページ上の申込書も、コピーし記入の上、講演原稿 1 部とそのコピー 1 部と共に郵送して下さい。

部門	分科
A. 静電気基礎	A-1. 電荷発生、減衰(固体、粉体、液体) / 絶縁体の電気伝導 / エレクトレット / 表面、界面電気現象 / 環境電気 A-2. 放電現象 / 高電界現象 A-3. 電界計算 / 静電気測定法 / その他の静電気基礎
B. 静電気応用(I)	B-1. 電気集じん / 環境制御 B-2. クリーンルームでの静電技術 B-3. 超微粒子制御
C. 静電気応用(II)	C-1. 静電塗装(粉体、液体) / 静電植毛 / 静電分離、混合 C-2. 電子写真、静電印刷および関連技術 C-3. エレクトレット応用 / EHD C-4. 静電マイクロマシン C-5. バイオエンジニアリングへの応用 C-6. その他静電気応用技術
D. 静電気障災害	D-1. 電子デバイス・機器の静電気障災害 D-2. 障災害事例調査報告 D-3. 障災害発生条件 D-4. 障災害防止技術 / 障災害関連問題

原稿の作成について

- 原稿の体裁: A4 サイズのできるだけ白く厚めの紙を用い、書式の見本を兼ねた次ページの原稿作成要領を参考にして見やすいようにワープロで作成し(手書き原稿は受理されません)、必ず白黒で(図表等を含めて)印刷して下さい。英文でも結構です。図表等の大きさは、見やすさと全体のバランスをよく考えて作成して下さい。貼り込む場合は、剥がれたり折れ曲がることのないように注意して下さい。
- ページ数: 2,4 ページまたは 6 ページ(奇数ページ不可)
各ページ数の原稿についての取り扱いは、下記の囲みの記載をご覧ください。
- タイトル: 日本語と英語の両方を見本のように併記して下さい。
- 英文要旨: 講演原稿の冒頭に配置(200 ワード以内)
- 図表: キャプションも含めて、すべて英文で書いて下さい。

講演原稿のページ数および静電気学会誌への論文の掲載

講演原稿のページ数は、2 ページ・4 ページ・6 ページの 3 種類とし、以下のような取り扱いを行います。

- 2 ページ、および 4 ページ原稿: 講演論文集に収録します。
- 6 ページ原稿: 講演論文集に収録されるとともに、静電気学会誌(全国大会論文特集)への投稿論文として自動的に査読プロセスへ送られます。査読を経て採択されたものは学会誌に原著論文として掲載されます。尚、投稿論文としての取り扱いは学会誌投稿規定に準拠します。また、同原稿は全国大会フォーマットのまま査読を行います。採決されたものは学会誌フォーマットに変更していただく必要がありますことをご承知おき下さい。学会誌フォーマットについては、静電気学会誌の最新の 1 号、または、<http://www.iesj.org> をご参照下さい。

春期講演会について(予告)

来年の 3 月上旬に春期講演会を開催いたします。本講演会は、静電気に関係した研究を行っている若手(主として大学院生あるいは企業・研究所等の若手研究者)による研究成果の発表を対象としています。なお、本講演での発表者は増田賞の被選定対象者となります。この講演会にもふるってご参加ください。